

中田義一さんに旭日双光章

うどんやそば店をつくる石川県麵類食堂生活衛生同業組合理事長として業界に貢献された中田義一さん（大長野町）が旭日双光章を受章しました。

中田さんは中学卒業後、県内外のうどん店で修業し25歳で独立。56年間うどん作りに打ち込み続けています。また約10年前から組合の事業として福祉施設に慰問し、うどんを提供しています。受章について「ここまで続けることができたのは共に歩んできた妻をはじめ、地域・組合員の方々のおかげ」と話しました。



川島清高さんに旭日単光章

株式会社オンワード技研代表取締役などを務め、業界の振興発展に貢献された川島清高さん（吉原町）が旭日単光章を受章しました。

川島さんは家業の織物業を発展・事業転換し、(株)オンワード技研を設立。世の中にない技術を創り出そうとする強い熱意を持ち、技術改革を進めてきました。受章について「希望を持てる企業にしたいという一心で商品開発に取り組んできた。名誉ある章をいただくことができ非常に嬉しく思う」と話しました。



福島武山さんに観光大使を委嘱

九谷焼作家で赤絵細描の第一人者として知られる福島武山さん（佐野町）への観光大使委嘱状交付式が5月22日、市役所で行われました。

福島さんは「赤絵は見た目の分かりやすさに加え経年による色の変化も楽しめる」と赤絵の魅力を市長に説明。観光大使については「能美市は人が温かいのも魅力。九谷焼を通じて出会う方々に、そういったことも含めた能美市ならではの魅力を多くの人に紹介したい」と意欲を示しました。



武腰潤さんに観光大使を委嘱

石川県九谷焼美術館館長や石川県指定無形文化財保持団体九谷焼技術保存会副会長を務める九谷焼作家である武腰潤さん（寺井町）への観光大使委嘱状交付式が5月27日、市役所で行われました。

武腰さんは配布用の大使の名刺を受け取り「この地で育ったおかげで今の自分がある。素晴らしい歴史や文化があり、若い方々の勢いもある能美市の魅力を、国内だけでなく海外にも伝えていきたい」と意欲を示しました。



辰口中央児童館に絵画を寄贈 東孝太郎さんに感謝状を贈呈

日本美術家連盟会員の東孝太郎さん（助生町）が辰口中央児童館の竣工を記念し、同館へ絵画を寄贈されました。

6月7日、井出市長から東さんへ感謝状が手渡され、東さんは「色々な想像ができる作品にしています。創造力豊かな子どもたちに楽しんでもらえたら」と話しました。

寄贈された作品は『トランポリン』と『星座』の2点で、共通して天使が描かれています。



東さんと井出市長の壁面の作品『トランポリン』には、ブランコなどの遊具が描かれています。



推進委員が懸垂幕を掲げてPR 男女共同参画週間

6月10日、能美市男女共同参画推進委員は、「男女共同参画週間（6月23日～29日）」に合わせ、懸垂幕を根上総合文化会館に掲揚し、今年度も本庁舎、寺井体育館と合わせて市内3か所に設置しました。

能美市男女共同参画推進委員会会長の村上洋子



推進委員会の皆さん

さんは「男女共同参画を身近なものとして、関心を持ってもらえるような取り組みをしていきたい」と男女共同参画の意識の醸成に向け、意気込みを述べました。

能美市観光大使の石浦外喜義さんにモンゴル友好勳章

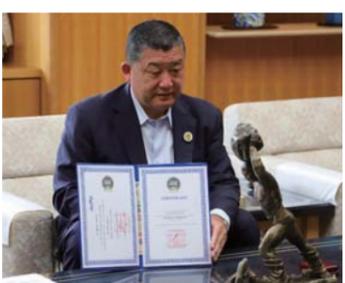
長年モンゴル留学生を受け入れ、同国との親善に努めた功績をたたえられ、能美市観光大使で鳥取城北高校校長・相撲部総監督の石浦外喜義さん（牛島町出身）にモンゴル政府から友好勳章が贈られました。

5月20日、石浦さんと相撲部員、相撲部員後援会の田中肇会長らが市役

所を訪れ、友好勳章受章の報告とともに、第103回高校相撲金沢大会で団体優勝したことを報告しました。石浦さんは「子どもはその気になれば何でもできる。今後も大相撲の世界に多くの力士を送り出したい」と話しました。鳥取城北高校相撲部員の中には5月中旬に、寺井高校の生徒と相撲の稽古を通じた交流も行いました。



市役所を表敬訪問した石浦さんと鳥取城北高校相撲部員ら



ブロンズ像や勳章について説明する石浦さん

寺井高校生が能美市を学ぶのみ検定テキスト編成ツアー

「のみ検定」の参考書となる「のみ検定テキスト」(仮称)を作成するため、5月23日から25日にかけて寺井高校生徒会の7人が市内各所を見学しました。

高校生が担当するのは、参考書内のコラム部分で、実際に生徒が足を



生産者に国造ゆずの特徴を聞く寺井高校の生徒たち

運んで見聞きした感想やエピソードなどを盛り込み、1人1本書き上げます。編成に協力してもらうことによる郷土愛の醸成に加え、高校生が執筆したという点で同世代の児童生徒にも、より興味を持ってもらえるような構成にしています。

生徒らは、いしかわ動物園、国造ゆず農園、弁慶謝罪の地、九谷焼資料館、手取フィッシュランド、松井秀喜ベースボールミュージアム、歴史民俗資料館を巡り取材しました。初日に訪れた国造ゆず団地では、生産者の塚田良三さんから果実が大きい「木頭」と小ぶりですが果汁の多い「多田錦」の2種類が栽培されていることや、ユズの葉の形には特徴があることなどの説明を受けていました。

食生活改善推進員の西さんが知事表彰

能美市食生活改善推進員の西久米さん(灯台笹町)が公衆衛生功労者知事表彰を受賞されました。

そのことを受けて、6月14日西さんが井出市長に受賞の報告やこれまでの経験を話されました。西さんは17年にわたり食生活改善推進活動に熱心に取り組み、市内の児童館や中学校・公民館等

に積極的に向き、食育の推進や食生活改善の普及、啓発に努めてこられました。また、食生活改善推進協議会の会長

職4年を含む役員を11年間、平成29年度からは南加賀食生活改善推進協議会の会長を2年間務められました。西さんは、「今後も食を通して地域の健康づくりに貢

献していきたいです」と話されました。



井出市長に表敬訪問される西さん

防災センターで気象予報士の半井さんが講演

気象予報士の半井小絵さんの講演会「国難に備える」情報の活用と私たちにできること」が5月25日、防災センターで開かれ、約100人が参加しました。

講演会は能美市が本年度から取り組む「我が事・丸ごと防災プロジェクト」の一環で、半井さんは「人間は、都合の悪

いことは起こらない・自分だけは大丈夫という心理が働いてしまう。少しでも異変を感じたら、早め早めに行動することが大切」と参加者に呼び掛けました。

会場では災害の写真が展示されたほか、非常食の試食会が行われ、参加者は災害に備える意識を高めていました。



豪雨や急な増水が起こる仕組みなどについて解説する半井さん